

本議案の議決に関しては、趣旨に反しない範囲の字句の修正は理事会にご一任ください。

2023年度事業のまとめ

はじめに

1月1日には能登半島地方で震度7の地震が発生しました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。群馬県生協連でも日本生活協同組合連合会の能登半島地震災害支援募金に10万円の募金を行いました。一日も早い復興、復旧に向けて会員生協と協力して支援を続けていきます。

2022年2月24日に開始された、ロシアによるウクライナ武力侵攻は出口が見えないまま長期化するとともに、イスラエルとパレスチナ・ガザ地区で紛争が勃発し、更に国際情勢は軍事的緊張感が高まっています。引き続き一刻も早い人道支援と平和的な外交努力による解決が求められます。

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月より5類へ引き下げられインバウンド消費を含め、国内消費が活性化する期待はあるものの、不安定な国際情勢や円安基調などを背景として、エネルギー価格、資材、食料品の価格が上昇を続け、家計や会員生協の事業、農家の方などにも大きな影響をもたらし、景気の不透明感は続き消費者のくらしは厳しさを増しています。その中で、会員生協では貧困や不平等の解消、持続可能な経済・社会の実現等の目標達成に貢献するため、様々な団体と連携しながら、食料支援・生活相談会など命とくらしを守る活動が進められました。

貧困の問題の他、少子高齢化、人口減少、労働力人口の減少、地球温暖化による異常気象、巨大地震への備えなど、私たちを取り巻く課題は多岐にわたります。

国連総会では2025年を、2012年に続き2回目の「国際協同組合同年」とすることを宣言しました。私たちは、協同組合の取り組みを更に広げ、人と人とのつながり、諸団体とのつながり、地域とのつながりを大切に、SDGsがめざす「誰一人取り残さない」持続可能な社会をつくるため、会員生協、諸団体のそれぞれが力を発揮し協力して活動を進めていきます。

1. 誰一人取り残さない、持続可能な社会づくり

1. 消費者政策課題

(1) 適格消費者団体・消費者支援群馬ひまわりの会の活動

○5月27日（土）にNPO法人消費者支援群馬ひまわりの会定期総会が実出席人数を絞り開催されました。総会では2022年度事業報告と2023年度事業計画が確認されました。

○11月15日（水）から12月8日（金）にかけて、伊勢崎市・安中市・松井田町で消費者被害防止のための「見守り力アップ講座」（群馬県委託事業）を5会場で開催しました。

(2) 前橋市消団連

○5月22日（月）に前橋市消団連第48回定期総会が開催され、5団体・個人の11名が参加し、全議案とも全員の賛成で承認されました。

○8月23日（水）に前橋市消費生活センターとの懇談会を開催しました。



懇談会のようす

(3) 群馬県消団連

○5月25日（木）に群馬県消団連2023年度定期総会が開催され、13団体46名が参加し、全議案とも全員の賛成で承認されました。

今総会では、前橋市消団連、群馬県消団連ともに八田直樹氏が退任し、新会長に大貫晴雄氏（群馬県生協連会長理事）が選出されました。また、第2部の記念講演では、適格消費者団体群馬ひまわりの会の斎藤匠理事長を講師に迎え「消費者トラブルへの気づき・見守り」の学習会が行われました。



講師：斎藤匠理事長

(4) 群馬県消費者大会

○消費者大会実行委員会が提出した群馬県行政への要望に対する回答説明会が、4年ぶりに開催されました。

○10月26日（木）に第68回群馬県消費者大会を開催しました。60名が参加して、全市町村の消費者行政調査の実施、消費生活センターとの懇談（明和町・館林市）、群馬県への要請提出と回答などの取り組みについて確認されました。また、第2部の記念講演では、一般社団法人ハレルワの間々田久渚代表を講師に迎え、「性の多様性について考えよう～互いの違いを受け入れ合える社会を目指した～」と題した記念講演が行われました。



明和町での懇談のようす



消費者大会のようす

(5) 行政との連携や協働

○群馬県消費生活問題審議会には、県連から針谷専務理事が参加、県消団連からは野原副会長（コープぐんま理事）が審議会委員として、「第3次群馬県消費者基本計画素案」作成等に参画しました。

○会員生協の取り組み

- ・コープぐんまでは、大泉町（4/21）と「地域見守り活動に関する協定」を締結しました。

2. 平和の取り組み

(1) 平和活動への参加

○8月11日（金）に前橋市芸術文化れんが蔵で開催された、戦後78年企画「地域から戦争を考える」報告会に参加しました。当日は「前橋空襲」紙芝居、「戦争下の子どものくらし」読み聞かせ、原田恒弘氏（元あたと歴史資料館学芸員）による「私の空襲体験」報告などが行われました。



報告会のようす

(2) 戦争体験記の発行準備

○第2版戦争体験記の発行準備として、各地で開催された戦争関連の式典等に参加し戦争体験をお話ししていただける方を探しています。

3. 環境の取り組み

(1) 環境学習会

○環境学習会等は具体的な活動を進めることが出来ませんでした。

(2) 行政との連携や協働

○群馬県環境美化運動推進連絡協議会、群馬県5R推進協議会、環境にやさしい買い物スタイル推進協議会に参加し環境の取り組みに協力しました。

環境にやさしい買い物スタイル推進協議会では、協議会に参加している団体の協力を得て、プラスチック製品の使用の見直しとリサイクルの推進を呼びかける啓発活動を、県内15の小売店や商業施設で行いました。



コープぐんま藤岡店



イオンモール高崎



JA ファーマーズ太田

4. 女性協議会の取り組み

(1) 運営委員会の取り組みについて

○新型コロナウイルス感染防止策を行った上で、毎月運営委員会を開催しました。

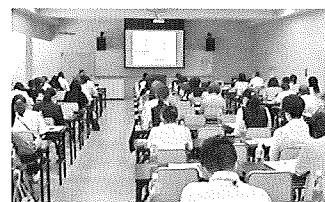
○2023年3月28日（火）にNPO法人ピルコンのキム・ハリム氏に講師を依頼して「家庭における性教育」をテーマとした学習講演をオンラインで開催しました。

平日昼間の開催でしたが、春休み期間中の企画ということもあり、合計約41名が参加、内7家族は親子での参加でした。

○6月20日（火）に第30回定期総会を群馬県生涯学習センターで開催しました。4年ぶりの対面開催で、第二部では一般社団法人ハレルワ 間々田久渚代表を講師に招き「LGBTQ について」の講演を実施し72名の役職員が参加しました。



講師の間々田久渚氏



会場の様子

○7月12日（水）に布見洋美生活こども部男女共同参画室長兼男女共同参画センター所長を講師に招き、「男女共同参画について」の学習会を開催しました。

○1月23日（火）に青木佑太氏を招き、「人とのつながり ～こどもが入院すると、その時家族は～」と題し、特別講演を開催しました。群馬県生涯学習センターで開催し、約50名の方が参加しました。



会場の様子



青木佑太氏

○2024年3月27日（水）に弁護士の松井隆司氏を講師に招き、春休み学習企画「成年年齢引下げと消費者被害について」のオンライン学習会を開催しました。



松井隆司氏

(2) 会員生協の活動交流について

○会員生協役職員と運営委員との懇談会は開催できませんでした。

(3) 行政とのつながりについて

○「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」「群馬県多面的機能の発揮の促進に関する第三者委員会」に運営委員から委員を派遣し、各々意見表明しました。

(4) 女性協議会の活動、あり方の検討

○男女共同参画の推進を基本とし、幅広い取り組みができるようにするための目的等の見直しについて継続して検討をしています。

II. 安心して暮らし続けられる地域社会づくり

1. 会員生協・行政・諸団体と連携した地域社会づくり

○会員生協では、対面での活動が再開され、生活困窮者支援や居場所づくりなど、地域とのつながりを大切にした取り組みが他団体と協力して取り組まれました。

※活動の詳細は「会員生協の取り組み」をご覧ください。

2. 災害対策、福島復興支援

(1) 災害対策協議会

○2月28日（水）に県連災害対策協議会を開催しました。

・協議会では、群馬県 河川課 水害対策室防災係担当者を講師に迎え「水害に備えて」について学習しました。



学習会の様子

(2) 令和5年度群馬県総合防災訓練

○9月16日（土）にみどり市において開催された令和5年度県総合防災訓練に、コープぐんま、パルシステム群馬、群馬県生協連が参加しました。



支援物資受け入れ訓練のようす



消火訓練のようす

(3) 福島視察研修会の実施

○12月7日（木）群馬県消団連・前橋市消団連と県連災害対策協議会の共催で、4年ぶりに「福島被災地バス視察」を開催、請戸小学校跡、伝承館を視察した後、ガイドの方が同乗して、双葉町・浪江町を視察しました。



伝承館をバックに撮影

3. 食品安全の取り組み

(1) ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク

○6月27日（火）に第17回ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク総会が開催され、9団体・個人の9名が参加し、全議案とも全員の賛成で承認されました。

○連携団体・会員生協を通じて、令和6年度群馬県食品衛生監視指導計画に対して意見書を提出しました。群馬県へはぐんま食の安全・安心県民ネットワークと群馬県消費者団体連絡会から、前橋市へはコープぐんまから、高崎市へはパルシステム群馬からそれぞれ提出しました。

(2) 群馬県食品・生活衛生課との協働事業の取り組み

○食品表示に関する現地講座

・8月22日（火）に株式会社とりせん「城西の杜店」で、食品表示に関する現地講座「親子で学ぼう！食品表示 in 夏休み」を開催しました。とりせんの衛生管理の取り組みや食品表示の関する基礎知識、手洗いのポイントなどを学びました。

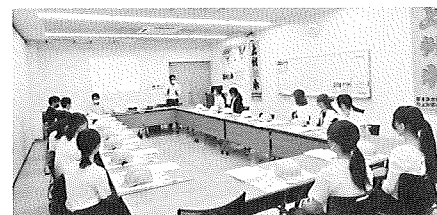
10家族23名（大人10人・小学校3年生～6年生の子ども13人）が参加しました。



とりせん店舗での現地講座

○共愛学園前橋国際大学短期大学部と連携

・9月7日（木）に群馬県食肉卸売市場とJA全農ミートフーズ株式会社を訪れ、衛生管理の取り扱いなどについての説明を受けた後、施設見学を行いました。



群馬県食肉卸売市場での学習

した。施設見学では製造工程、食肉の流通過程など説明を受けながら視察しました。その後、食の安全・安心についての学習を行いました。生活学科栄養専攻の学生9名が参加しました。

○高崎健康福祉大学と連携

・11月14日（火）に株式会社ベイシア「伊勢崎モール店」、11月21日（火）に生活協同組合コープぐんま「コープみさと店」を訪れ、企業の概要と店舗での衛生管理・品質管理の取り組みについて説明を受けた後、店内の視察と意見交換を行いました。その後、群馬県食品安全検査センターを見学し、食の情報に関する意見交換を行いました。健康福祉学部健康栄養学科の学生97名（2日間の合計）が参加しました。



ベイシア西部モール店の視察



コープみさと店の視察



食品安全検査センター視察

○食物アレルギーオンラインセミナーを開催しました。

群馬県との協働事業として、「正しく知ってる？ ～誤食事の対応を含めて～」をテーマに荒川浩一氏に講師を依頼し、2月2日（金）～2月26日（月）の間、群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」において録画配信され551回視聴されました。

○消費者に食品表示を正しく理解していただくために、「食品表示ガイドブック」を3,000部作製し、ネットワークの会員店舗等に設置しました。

(3) 県行政とのつながり

○群馬県食品安全審議会（群馬中央医療生協 瀧澤理事―県消団連から推薦）や群馬県食品安全県民会議（新井理事）、群馬県食育推進会議（針谷専務）に委員として参加しました。

4. 健康チャレンジの取り組み

○健康づくりの習慣を広めていくために健康チャレンジに取り組みました。

○9会員生協が参加する実行委員会を中心に運営を進め、実行委員長に利根保健生協の飯塚眞登理事が選出されました。

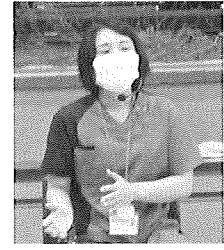
○今回も群馬県、群馬県教育委員会をはじめ、35市町村、15市町村教育委員会、11団体、県内マスコミ9社の後援が得られました。

○キッズ健康チャレンジの取り組みでは、地域校長会や教育委員会での説明や小中学校、幼稚園、保育園、学童保育への訪問を実施し、取り組みの輪が広がりました。一般向け健康チャレンジの取り組みでは、行政への訪問や公民館、地域の店舗などへのパンフレット設置なども取り組まれました。

○10月25日（水）に北毛保健病院リハビリ科の大野光子理学療法士を講師に迎え、健康チャレンジ応援企画（運動編）「健康づくり体操～100歳まで自分の足であるこう！～」と題して、健康チャレンジ2023学習会を開催、組合員、役職員48名が参加しました。



会場のようす



講師の大野光子氏

○一般向け健康チャレンジで6,396名、キッズ健康チャレンジでは92施設等から5,733名の報告が寄せられ、合計で12,129名が参加しました。

Ⅲ. より多くの人々がつながる生協

1. フートピア21（協同組合間連携）

(1) フートピア21職員学習会の開催

○2月29日（木）にフートピア21視察交流会が開催されました。JA 全農ミートフーズ株式会社高崎ハム工場視察の後、広報活動をテーマに交流会を開催しました。



会場のようす

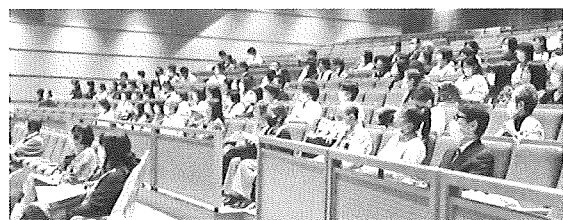
(2) 利根沼田地域での取り組み

○利根沼田地域では、JA 利根沼田、利根保健生協、利根沼田森林組合、コープぐんまなどが協力して、収穫体験、手洗い教室、森林づくりなどが開催されました。

2. 生協大会の開催、協同組合まつり（仮称）の検討

(1) 第55回生協大会

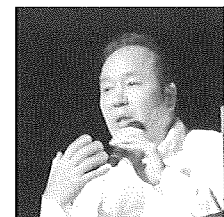
○10月12日（木）に昌賢学園まえばしホールにて、第55回群馬県生協大会を開催しました。対面での開催は4年ぶりとなり、約130名の方に参加いただき、『誰一人取り残さず、安心して暮らし続けられる地域社会を作るために ～私たち生協ができること～』を今大会のテーマに開催しました。



生協大会の会場のようす

第一部では、社会活動家 河村正剛氏による「タイガーマスク運動の始まりとこれから」をテーマに講演していただきました。

第二部では、生活クラブ生協群馬の中島理事による「ワーカーズ・コレクティブ運動と、ステーションでの拠点づくりの試み」、はるな生協野村さんによる「生活困窮者支援の取り組み」について報告がありました。



講師の河村正剛氏

(2) 消費者まつりの後継企画の検討

○2023年度以降の取り組みの検討をすすめることができませんでした。

3. 研修会・学習会

(1) 役職員学習会

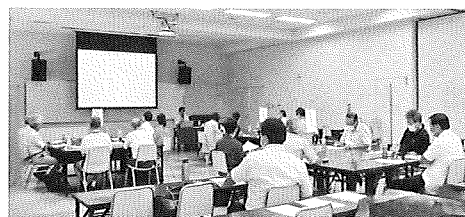
○7月11日（火）に「ヤングケアラー」をテーマに、役職員向けオンライン学習会を開催し64名が参加しました。ヤングケアラー支援ネットワークぐんま「虹色のかさ」会長 高橋知之氏を講師に迎え「ヤングケアラーについて考える」をテーマにお話ししていただきました。



オンライン開催のようす

(2) 医療福祉生協監事研修会、理事研修交流会の開催

○9月14日（木）に第7回医療福祉生協監事研修会を開催しました。医療福祉生協の監事と県連事務局あわせて18名が参加、日本生協連法務部の井藤氏を講師に迎え「期末監査・会計監査と監査報告書作成のポイント」と題した学習会の後、3つのグループに分かれて各生協からの質疑を交え意見交換が行われました。



監事研修会のようす

○2月8日（木）に第6回医療福祉生協非常勤理事研修交流会を開催しました。医療福祉生協の理事、役職員と県連事務局あわせて47名が参加、医療福祉生活協同組合連合会の片山忍専務理事を講師に迎え「医療福祉生協のまちづくり」について講演していただき、質疑の後6グループに分かれて意見交換が行われました。



組合員理事研修会のようす



講師の片山専務

4. 行政・他団体との連携

(1) 群馬県行政との懇談会

○7月20日（木）に群馬県消費生活課と県生協連会員生協との懇談会を開催しました。消費生活課からは2名、県生協連からは9会員生協11名と事務局3名が参加しました。



消費生活課との懇談会のようす

(2) 各種審議会、委員会の参加

○県生協連、県消費者団体連絡会から審議会、委員会に参加しました。

※審議会・委員会等の参加は「群馬県審議会・委員会委員名簿」をご覧ください。

(3) その他

○群馬県社会協議会主催の「協働型災害ボランティアセンター運営研修」「ぐんまボランティアフォーラム」に参加しました。

会員生協の特徴的な取り組み

【生活協同組合コープぐんま】

1. 組合員活動

(1) 環境保全活動の取り組み「ネイチャークラブ」では、「春の植樹」「夏の林業体験」「秋の下草狩り・間伐作業体験（雨天中止）」を通じて自然保護の大切さを学びました。2023年度の参加者は延べ19家族61名でした。「河川の清掃・利根川をキレイにしよう」企画では3家族10名が参加し、拾ったごみ総量は燃えるごみ「3.66kg」、燃えないごみ「7.26kg」でした。また、いばらきコープと共同した「海の入口をキレイにしよう」企画では13家族22名が参加し、吹き溜まりには大量のごみが漂着していました。ゴミの大半はペットボトルで、環境を守る上での社会問題を考えさせられました。

※「ネイチャークラブ」とは、山から海まで環境全体を考える、コープぐんまの組合員が主体のクラブです。

(2) 平和を考える取り組み「ピースクラブ」では、6名の子どもたちが平和について学び、日本生協連主催のピースアクション in ヒロシマへも参加しました。その他、大人も参加できる「平和企画」として長野県「無言館」「松代象山地下壕」見学や「平和映画鑑賞会」を開催しました。

(3) たべるたいせつ（食育）では、「1週間にもう一杯お米を食べようキャンペーン（ワンモアライス）」や「食べて・飲んで未来へつなごう」に関する学習会を開催しました。また、様々な収穫体験に多くの組合員が参加しました（小松菜、レタス、お米づくり、キャベツ、たねやさんの畑探検、下仁田ネギ、ブロッコリー・アレッタなど）。

(4) ブロック委員公募制による体制づくり2年目となり、様々な年代・男性参加もあります。コープ商品を中心に、くらしに関わるさまざまな企画を通して定期的に交流する場「スマイルコット」が各ブロックで定期開催されました。

2. 事業活動

(1) 組合員数は351,894名（予算差▲3,606名、前年比+5,325名）となり、10月には「組合員35万人突破企画」として、全利用者を抽選対象としたプレゼント企画を行いました。

(2) 総事業高は354.2億円（予算比98.0%、前年比99.4%）となり、経常剰余金は11.9億円（予算比405.7%、前年比162.6%）となりました。

(3) 家庭用品を中心とした食料品の値上げが続き消費者を取り巻く環境は厳しさを増している中、商品調達を確実にすすめながら、利用しやすい商品・サービス、迅速な価格対応・販促強化をすすめました。仕様の見直しや仕入れ方法改善など、様々な対策で価格対応をすすめました。しかし、取引先からの値上げの要請もあり、適切な取引と確実な商品調達を行うために多くの商品で値上げがありました。一方で組合員のくらしに貢献するために「くらし応援キャンペーン」「全力値下げ」を継続し、お求めやすい価格での提供を継続しました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

(1) 子育て支援の取り組みとして、4月13日より渋川市に新たなこども食堂「ほぺたん広場（渋川）」が開設されました。これにより県内のほぺたん広場は4カ所となりました。また、地域の子ども食堂（10カ所）を継続的に支援しました。

(2) 10月21日（土）コープぐんま初となる「コープぐんまフェスタ2023」を高崎Gメッセで開催し、約40社に協賛参加いただき来場者は約2,000人でした。

(3) 奨学金制度初年度となる2023年度は奨学生15名を採用しました。奨学金応援サポーターは3月現在で1,081名に登録いただいています。

(4) 自治体や地域住民・諸団体と連携して、地域の人々が協力し、支えあえる取り組みをすすめるため、群馬県と11市へ訪問しました。

会員生協の特徴的な取り組み

【生活協同組合パルシステム群馬】

1. 組合員活動

- (1) 地域ごとの組合員活動の活性化を目指して取り組んでいました新組合員活動グループの立ち上げとして、2023年12月に正式に足利市で「パル友♡あしかが」が誕生しました。地域の組合員の努力とこれまで丁寧に地道に取り組んでいたことが、新活動グループの誕生につながりました。
- (2) 2023年度では、組合員の自主的な活動による企画や生協主催企画で、商品や環境、平和、SDGs などをはじめ年間73回のイベントを開催し、のべ3,000人以上の多くの参加がありました。
- (3) パルシステム群馬の組合員が1年間いろいろな苦労や工夫をしながら明るく取り組まれてきた「ほしいをカタチにプロジェクト（旧商品開発チーム）」において、「部分洗い用せっけん」を開発しました。

2. 事業活動

- (1) 2023年度供給高は、58.7億円（予算比98.5%、前年比99.7%）、総事業高では60.9億円（予算比99.7%、前年比98.5%）となりました。アフターコロナにより外出や外食等の機会が増えたことや、円安による物価高騰の影響から利用が計画を下回りましたが、経常剰余金では2,548万円（予算比124.03%、前年比54.18%）と計画を超えることができました。
- (2) 新規加入は4,977件（予算比90.5%・前年比103.3%）と計画には届きませんでした。登録組合員が5万人を突破し、大きな節目の年となりました。各種記念キャンペーンも実施し、組合員への感謝企画も開催しました。
- (3) 40年以上経過した渋川センターの新築移転工事の準備をすすめました。2024年度より同市内で新センター建設を行い、2025年度の稼働を目指しています。

3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

- (1) 学校機関を中心に開催している「SDGs スクールアクション」や、SDGs の推進として行政や他団体とも実施している「合同フードドライブ」などの取り組みも、年間で24回、のべ約1,000人の参加につながりました。
- (2) 今年度は学校以外の団体等でも SDGs 特別授業と交流を実施しました。また、組合員向けの「SDGs 学習会～今さら聞けないSDGs～」をオンライン開催、女子プロサッカーチームの試合時にフードドライブを実施するなど、新たな取り組みにも挑戦しました。
- (3) 10月に6団体合同（学校・行政・一般等）でフードドライブを実施しました。集まった食品は、合同寄贈式にて前橋市こどもフードパントリー事業に寄付しました。複数団体がひとつの目的のために集まり、それぞれが連携の大切さを実感する貴重な機会となりました。
- (4) 子ども食堂や食品配付を実施している5団体に対し、商品供給上の予備青果を提供いたしました。また、団体に役職員が訪問し、運営状況や課題に感じていることなどについて意見交換をしながら交流を深めました。
- (5) 2024年度事業を行う6団体に、パルシステム群馬独自の市民活動助成金を贈呈いたしました。

会員生協の特徴的な取り組み

【生活クラブ生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 感染防止対策を講じて、対面での活動を再開しました。3年ぶりに「クラブ de マルシェ」という名称の生協祭りを4年ぶりに行いました。生産者交流会として、調理と試食の学習会も久しぶりに行うことができました。2016年以来7年ぶりに出店した高崎スプリングフェスティバル（4/29）や、初めて参加した上毛新聞社主催「くらしのし JOURNEY in 群馬」（9/9、9/10の2日間で合計18,876名の来場者）の大型イベントの他、地域イベントなど多数のイベントに参加しました。
- (2) 昨年始まった組合員同士のたすけあいの仕組みのエッコロ制度を改定し、組合員の集いの場となるエコロひろば（サークル、学習会）活動への補助も開始しました。

2. 事業活動

- (1) 共同購入事業の供給高は568,703千円で前年比98.9%、1人当たりの供給高は18,689円で前年比99.6%でした。
- (2) 2022年12月に高病原性鳥インフルエンザが生活クラブの農場で発生した影響で、受注制限や供給規格を変更した配達が続く、10個パックの取組が完全に再開したのは9月でした。牛乳は、酪農家の打撃を受けた状況に対して「牛乳応援基金」を4月1回取組みよりスタートし、牛乳の価格に2円を上乗せしました。
- (3) 本部・高崎センターが手狭になってきたため、移転先を長年探していました。高崎玉村スマート IC 北工業団地の分譲に応募し、6月27日付で売渡決定通知書が届きました。臨時総代会を9月28日に開き、土地購入及び建設について承認されました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの取り組み

- (1) 生活クラブ連合会とともに「脱原発、脱炭素と再生可能エネルギーへのエネルギー転換の加速を求める署名」、「パレスチナ救援カンパ」「能登半島地震復興支援カンパ」に取り組みました。
- (2) 岩倉自然公園水辺の森を愛する会（玉村町）の清掃活動やこどもの森まつり（8/6）に参加しました。

会員生協の特徴的な取り組み

【よつ葉生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 茨城県石岡市の「JA やさと」、栃木県の塩谷町「和氣ふぁーむ」、上三川町「日本の稲作を守る会」で農業体験を開催しています。良い環境が整った場所で土や生き物に触れ、作物が出来るまでを体験してもらい、生産者との交流を通して農業の現状を知るために活動をしています。2023年度は、一部中止もありましたが、年々参加者が増え8開催、総勢339名（大人224名、子ども115名）の参加がありました。
- (2) 4年ぶりに生協まつりを開催することができました。10時から14時まで多くの方にご来場いただき、約3,000名の参加をいただきました。今年は新しくスタンプラリーや子どもガラポンも企画しました。生産者と組合員が交流する場が再開できました。
- (3) 広報誌活動（よつ葉だより）では、よつ葉生協の運営や経営を担う人とすべての組合員との大切なコミュニケーションの手段として、週1回発行している会報です。生協からの「お知らせ」と同時に、「いのちと健康・暮らしを守る」の理念に基づく取り組みの紹介や、予防原則に立った商品選定をする生協としてメディアでは取り上げられない様々な情報も、一人一人の組合員が自ら考えて判断する材料として発信しています。多くの組合員が読みたくなる、参加したくなる紙面づくりを目指しています。

今年度は特に、有機農業の普及・推進に一層力を入れるよつ葉生協の取り組みを反映し、産地からの情報を今まで以上に多く発信しました。農薬に頼らない農法や工夫、また、過酷な異常気象が続く中での作物の様子などをお伝えしました。
- (4) 「よつ葉の広場～話・輪・WA」は地域の組合員と直接会って、商品の紹介をしたりおすすめ商品を教えあったり、より楽しく豊かに暮らすための工夫などのおしゃべりなどをして交流する機会です。今年度は生産者をお招きし、生産の工夫やご苦労、商品のこだわりなどのお話をお聞きすることができました。4会場、参加21名。

2. 事業活動

- (1) 総事業高4,671,800千円（前年比101.6%、予算比101.8%）となり、経常剰余金は27,600千円（前年比87.1%、予算比106.2%）増収減益で終了となりました。
- (2) 組合員数は27,087名（前年比101.2%）拡大スタッフの人員不足が影響しました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの取り組み

- (1) フードバンク・地域施設への支援5団体（剰余商品の寄付）／年間210万円
- (2) 各募金活動の継続（新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金、放射能から子どもを守る募金、被災孤児を支援する募金、有機農業と国産種子を守る募金）
- (3) 「イスラエル・ガザ地区人道危機救援金（緊急募金）」 10/30～11/17 222万円
- (4) 「令和6年能登半島地震」災害支援募金 1/15～3/15 476万円
- (5) ハンガー・フリー・ワールドへの協力（9月・3月）

会員生協の特徴的な取り組み

【群馬県庁生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 2023年6月22日（木）県庁生協食堂において、第74回通常総代会を開催し、すべての議案が承認されました。
- (2) 機関誌「G倶楽部」を毎月1回発行しました。生協事業の広報のみならず、「簡単クッキング」、「映画情報」、「クイズ（間違い探し）」、「身の回りで起きたこと」等のコーナーを設け、組合員とのコミュニケーションツールとなっています。

2. 事業活動

- (1) 売店は県庁店、前橋店、高崎店、沼田店の4店舗を設置しています。事業高等では前年よりも回復傾向が見られるものの、新型コロナの影響が残るなど通年では依然として厳しい運営状況となっています。
- (2) 食堂は県庁店、沼田店の2店舗で設置していますが、事業高等では上記売店と同様な傾向が見られます。また、県庁店では、パーティ事業や県庁内の配達弁当事業も行っています。
- (3) 県産農産物やカタログによる各種商品などの共同購入事業を実施しました。

会員生協の特徴的な取り組み

【群馬県学校生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 職場と学校をつなぐ活動として県内13地区ごとに行う「地区運営委員会」を上期・下期の年2回開催する予定です。コロナ禍では中止・縮小を余儀なくされましたが、2023年度には上期2地区、下期8地区で開催し、生協係からの意見や要望を集約して事業活動へ反映しました。また、学校試食会を7校で開催しました。
- (2) 2017年8月に導入した「マイページ」は2023年度末では約10,900名の登録となり、登録率は71.2%となりました。ペーパーレスにつながり、生協係の負担軽減や事業コストの削減に資するほか、情報発信ツールとして組合員のくらしに役立つ情報を定期案内しています。また、登録者限定の景品プレゼントを毎月実施するなど、見てもらう工夫も継続しています。

2. 事業活動

- (1) 年3回実施する「ひとり一品以上利用拡大キャンペーン」を主要企画と位置づけ、県内の全公立学校を役職員で訪問し、併せて感染症対応支援品をお届けします。
- (2) 「学校生協まつり」や「退職準備セミナー」、「ジュエリーバスツアー」、「組合員交流ゴルフコンペ」などの組合員参加型事業は、コロナ禍では規模を縮小していましたが、徐々に通常開催の方向で進めてきました。「工場見学バスツアー」は中止が継続していますが、2023年度は「住まいづくりフェア」や「親子地曳網体験」、「イチゴ摘み体験」など、子育て世代を対象にしたイベントを開催しました。
- (3) デジタル組合員証は提示するだけで提携店での利用ができ、利便性が向上しています。
- (4) 学校の働き方改革に寄与するため、生協係の負担軽減策として、企画チラシ等の利用者・希望者配布を推進しました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

- (1) 小規模グループ支援として3団体に、激甚災害見舞金を能登半島地震の被災地である石川県にお届けしたほか、年3回実施する「ひとり一品以上利用拡大キャンペーン」を被災地支援企画と位置づけて、利用額の2%に当たる477,000円を義援金として東日本大震災と熊本地震の被災地に届けました。また、指定業者会の協力による学校安全パトロール活動、サッカーボール寄贈（小学校60校、中学校40校）、小学生対象サッカー教室を継続して実施しています。さらに、2022年度からは保険会社の協賛による防災教育や金融教育などの出前授業も開催しています。
- (2) 新型コロナウイルス感染等防止と教職員の健康維持に寄与するため、業者会の協賛を得て、県内公立学校及び教育関係機関に「感染予防品」を年3回寄付しました。この活動は2024年度も継続して行う予定です。

会員生協の特徴的な取り組み

【群馬大学生生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 2023年度新学期には、新入生向け資料を一つにまとめた「入学準備応援パック」を作成し、WEB 申込まいただいた希望者全員に無料配布を行いました。また、新入生を迎える企画として「入学準備説明会」「新入生交流会」「履修登録相談会」を開催しました。特に「新入生交流会」「履修登録相談会」は3年ぶりの対面開催を行い、それぞれ150名・400名の参加があり、新入生に非常に好評でした。お部屋探しに対応する新入生サポートセンターは完全予約制の対面で行いましたが、予約枠の関係で組合員へサービスが十分ご提供できない場面がありました。
- (2) 桐生キャンパス（理工学部2年生以上）では、キャンパス移行生と上級生の交流企画を行い、キャンパス移行に伴う新2年生の生活や学習に関する不安に上級生が答えることができました。
- (3) 総代会では終了後に「焼き立てパン試食会」を実施し、ご利用いただく商品の人気や要望についての情報を共有したほかに、食事をしながらの総代同士の交流を深めました。
- (4) 店舗ではお菓子・アイスの人気投票企画などを行い、組合員の参加推進と店舗・商品利用につながり、組合員に生協店舗を身近に感じてもらうきっかけとなりました。

2. 事業活動

- (1) 大学が原則対面授業となったことでキャンパスに学生が集うようになりました。
これに伴い、食堂を中心とする「食」の事業については一定の回復傾向が継続しています。これを促進するために「学食回数券」という制度を提案し、食堂をより多くご利用いただく施策を取りました。ただ、経済的な理由から、お弁当を自宅からお持ちになる組合員が多くなっています。また、混雑や順番を待つという状態や行為を避ける傾向が強く、一定以上の混雑があるとそれ以上のご利用につながらない状態が続いており、「食」事業の回復の進み方も緩やかな状況です。
- (2) 文具分類については利用が激減しています。学生の学びの方法が変わってきており、ノートなどの紙を利用する場面が極端に減っており、タブレットやパソコンによるノートテイクが増加傾向になっていることが理由とされます。
- (3) 大学生協アプリおよびオリジナル電子マネーの提案が2年目を迎えました。生協オリジナル電子マネーでの支払いや通知機能などを通じて組合員とのコミュニケーションツールとして活躍しましたが、上級生の登録率が低いことが課題となっています。

3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

- (1) 法改正による18歳成人にあたり、新入生へのWEBでの啓もう活動のほかに、中央労働金庫様のご協力を得ながらトラブル防止冊子の配布を行いました。
- (2) 住まい事業部を通じて、地域の家主さんとゴミの出し方や災害時の避難場所・避難経路に関する取り組みへの可能性について話し合いを行いました。
- (3) 食堂のフードロス削減の取組みとして閉店間際のツーオーダーを実施しました。

会員生協の特徴的な取り組み

【太田情報・医療・自動車専門学校生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 2023年度新学期には、新入生向け資料を一つにまとめた「生協案内」を作成し、大学資料とともに全新生に配布していただきました。あわせて3年ぶりに行われた対面の入学ガイダンスに参加し、新入学制に向けて生協の説明を直接行うことができました。
- (2) 七夕企画、クリスマス企画（くじ引き等）を行いました。これらの企画を通じて、生協を身近に感じてもらうことや組合員同士のコミュニケーションが進みました。

2. 事業活動

- (1) 授業は2021年から対面授業で進んでおり大きな変化はありませんでしたが、クラス単位での講義が多いためか、食に関する利用は増加傾向にあります。食事を一緒に取ること、おやつなどの間食を友達同士で声をかけあって利用する場として生協を認識いただくことができました。
- (2) 学校法人の困りごとの解決を進めることで、教材利用などが大きく前進しました。特に制服やつなぎなどが継続してご利用いただくことができました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

- (1) 専門学校という特殊性もあり、学校法人自体が社会貢献や地域社会づくりの取り組みを強めています。生協としてこれらの行事への参加や支援などを今後の課題としています。

会員生協の特徴的な取り組み

【高崎経済大学生生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 高経大生協の新学期活動の最大の課題は、3月21日発表で4月2日の大学ガイダンスまで時間の無い中後期日程合格者（約4割）への情報提供でした。加えて前期日程合格発表後の最初の週末が中後期日程入試と被り学内に入れず対面の提案活動ができない年が多いことも問題となっていました。そこで、24年新学期に向けて学長要請や大学事務局各部との交渉の結果、中後期入試日に学内で入学準備資料を配布できるようになりました。また、今期中後期入試の入構規制は土日を外れたため、前期合格者用の入学準備説明会を数年ぶりに対面で実施することができ多くの参加を得ました。これにより多くの新入生や保護者に、入学準備の情報をいち早くお届けすることができました。来期は地方受験者へ同様の宣伝物が届けられるよう大学とその方法を交渉していこうと考えています（地方受験者数が多いのも高経大の特徴です）。
- (2) 年間通した、お店や食堂と生協学生委員会のコラボ企画も新たな取り組みとしていろいろ進みました。特に後期に、例年のハロウィン企画やクリスマス企画に加えて、おにぎり人気投票・生協のお弁当人気投票企画や、うどんトッピングアレンジ企画を新規企画として実施、好評を得ました。

2. 事業活動

23年度総代会で2023～2025年度の中期3か年計画を策定し、その事業活動目標達成に向けた課題の設定と実現に向けた活動を行いました。

- (1) 新学期パソコンは25年度までの新入生対比シェアを30%と定め、24年度新学期への目標をシェア23%に設定、その達成のためにPCキャリアアップ講座などの関連商品との総合提案化とアフターケアを重視して提案しました（結果24年新学期では約25%を達成しています）。また、iPadを、コロナを経過しBYODが導入されて以降の学修環境の変化に対応した機種として、先輩たちのおもしろい使い方とともに提案しました（24新学期には倍量供給に成功）。
- (2) 学生の欠食防止と、学内では少しでもバランスよく食事をとってほしいという思いからミールシステム（1日600円の食事を100日、54,000円で食べられる生協電子マネーの定期券）の運用開始に向けて準備しました。初年度利用者は新入生比3割を目標としました（実際の申込みは28.6%でほぼ目標達成）。
- (3) 短い昼休憩時間の中でもできる限りキャンパス内で喫食できるように、食の選択の幅を増やすべく焼き立てパンの事業を新たに計画しました。その準備に1年を要して24年新学期開業となりましたが、現在目標以上の1日650個平均で供給し、食事業の柱の一つとなっています（目標600個/日）。
- (4) 学生の学びと成長を支援する事業の伸長を計画しました。まずはこの間あまり取り組めていなかった就活生への取り組みを考え、4月に行われる大学キャリア支援センター主催の就活Start Up講座に初めて登壇し、大学生協がお勧めする就活サイトの登録を促して飛躍的に登録者がアップしました。また、就活生用の写真撮影を企画し、好評を得ました。24年度にはインターンシップ前にこの企画を開催できるよう現在準備中です。

会員生協の特徴的な取り組み

【前橋工科大学生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 23年度の新学期は、前年はまだオンラインでしかできなかった新歓企画を、ほぼ全て対面で行うことができました。推薦生交流会・新入生歓迎会などがそれです。また、前年から始めた新・新歓企画の「女子会」もパワーアップして開催し、多くの参加を得ることができました。これらの新歓企画を通して、多くの新入生の入学前の不安を取り除き、入学前からの友達づくりに大きく貢献できました。これらの新歓活動を通して、多くの新入生が学生委員会につどい、委員会が一気に大所帯となりました。これに伴い学生会の活動もまた広がりを見せました。
- (2) 5号館に大学が設置しているフード自販機の品揃えと改廃は、23年度も継続して学生委員会と店舗職員が話し合いで行っていて、売り上げもさらに伸びました。
- (3) 食堂では券売機と併用で初めて生協電子マネー（学食マネー）を使えるようにするために、セルフレジを導入しました。新学期の最大ピークに大きな混乱が起きないように、学生委員会が食堂各コーナーに立って新入生に食堂の使い方を声掛けしました。
- (4) 購買書籍店舗では、学生委員会が作る商品POPの活動を今期も継続させ、新たに、PET ボトルキャップの回収も兼ねてキャップで投票してもらう「きのこ・たけのこ」バトル企画や、アイスバトル企画などの企画を実施しました。
- (5) 夏には、コロナの間ずっと中止していた大学の「こども科学教室」が4年ぶりに対面開催され、食堂を営業・開放して多くの利用にこたえるなど、大学の地域貢献活動と一緒に取り組みました。

2. 事業活動

- (1) 23年度の供給高は13,524万で、前年比+1,329万、予算比+1,004万と好調に推移しました。特に好調だったのが、情報機器分類（パソコンなど）と食堂でした。情報機器分類は前年比+879万、予算比+648万、食堂は前年比+268万、予算比+142万です。情報機器分類は、なかでも新学期の生協パソコンが好調でした。前述のように機種選定にこだわり、（廉価タイプの提案もしていますが）売れているのは高額タイプで、4年間の学びを考えて満足のいくメモリとHDD容量+安心のアフターケアが生協提案のメインになっています。前工大らしい、大学の学びに添った提案ができています。対新入生シェアは36%となりました。併せてPCキャリアアップ講座の申し込みも昨年35名から57名と大幅増となりました。
- (2) 生協電子マネーの事前チャージ申し込みの多さも供給の後押しとなりました。新入生の7割にあたる205人の申し込みがあり、学食マネーに10,000円、ベースマネーには20,000円の入金がされました。この実績をもとに24年に向けてミール定期マネーを導入し（前工では550円×100日を50,000円で）、24年新学期には35%の申込みを得ています。これは東京地区会員中トップの申し込み率で、新入生本人や親御さんの食に対する期待の大きさが伺えます。
- (3) 24年度の新学期に向けた活動は、23年度の活動をさらにアップデートして臨んでいます。入学準備説明会では、食堂に移動して保護者も含めて生協食堂体験をしていただきました。この際ミール定期利用額の550円をトレーメーカーして提案するなど、より事業活動推進に結び付く取り組みになってきています。

会員生協の特徴的な取り組み

【利根保健生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 身近な地域での班会は、コロナ禍で年155回まで激減しました。一方、サークル活動は年1300回を超え、同じ目的で集まる集団活動が主軸になりつつあります。
- (2) 「ぐんままるごと健康チャレンジ」では大人向けは2,029枚の配布に対し646件の提出、子ども向けは3,070枚の配布に対し1,323件（289件増）の提出でした。
- (3) ハイキング・ウォーキング企画は今年度も2回開催し、春の赤城自然園では遠方にもかかわらず36人が参加、秋の諏訪峡散策には55人が参加し楽しみました。
- (4) 「助け合い活動」は年間23件の相談があり、該当支部で13件に対応しました。
- (5) 協同組合間連携として、JA 親子農業体験で年3回の保健講話で連携し、地元のJA 収穫祭では、まちかど健康チェックで連携しました。
- (6) LINE 公式アカウントでは月2～3回の頻度で様々な情報発信をしています。

2. 事業活動

- (1) 利根中央病院では、新型コロナウイルス5類移行に伴い、群馬県から5類移行ロードマップが発出され、当院版ロードマップを作成して診療体制を構築しました。9月にはコロナ病棟を閉鎖し、各病棟でのコロナ患者受け入れを開始しました。発熱外来は5類移行後も体制を維持しました。
- (2) 働きやすい職場づくりとして、ハラスメント対策やメンタルヘルス支援対策に取り組み、職員間の「ありがとうのお届け便」は通算22通となりました。地域との交流を掲げ、医療懇談会の開催や地元高校による慰問演奏会などを受け入れ、似顔絵セラピーでは高校生や組合員とのコラボ企画を開催しました。
- (3) 利根中央診療所の訪問診療では在宅療養のニーズに応えるべく奮闘し、看取り件数が過去最多となりました。
- (4) 利根歯科診療所には、口腔外科の経験豊富な歯科医師の入職があり、紹介に頼っていた口腔外科対応が広範囲に可能となりました。技工用デジタル機器の整備に加え口腔内スキャナーを購入し、従来の型取りの代替の他、診断・説明の向上に努め始めました。カルテ・会計システムを刷新し、機能の改善・会計処理の効率化を図りました。地域のNST、栄養士会との連携づくりを始めました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの取り組み

- (1) 困窮者支援の一環としてとりくんでいる「みんなの食堂」では毎月1回の定例開催をし、毎回30～50人程度の支援につながっています。フードドライブは隔月で定期開催し、身近な企業や個人からの支援品が寄せられ、またブロックからのボランティア協力も組織して、毎回40～60人程度の方の継続的な支援を実施できました。

(2) 教育機関との連携で、医師や看護師・理学療法士などの専門職がテーマに沿って学校でお話する「保健講話」は30回、手洗い教室は8回に対応しました。

(3) 「わがまち探検&クリーン大作戦」という地域の史跡等を巡りながらゴミ拾いを行う活動は、組合員と職員の連携のもと12支部で25回とりくまれました。

(4) 能登半島地震に関する支援

- ・DMAT 1隊 1/4 (木) ~ 1/9 (火) 4日活動 (医師1、看護師2、ロジ2)
- ・DMAT 2隊 1/7 (日) ~ 1/12 (金) 3日活動 (医師1、看護師3、ロジ1)
- ・看護協会災害派遣ナース (看護師2人)
- ・DWAT (県災害派遣福祉チーム) で3/14~17でMSWを石川県へ派遣
- ・小松みなみ診療所への医師支援要請に応需：4/15~19総合診療科・高橋 Dr
- ・義援金：職員319,447円⇒民医連へ。組合員187,946円⇒医福連へ送金

会員生協の特徴的な取り組み

【北毛保健生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 強化月間は10月～11月の2ヵ月間支部目標の8割を達成しようと行動しました。月間中、支部長職責者会議を開催し各支部の特徴ある活動を共有し、支部と職場で行動計画を確認し合いました。「頑張ってるぜニュース」を発行し月間の活動に弾みを付けました。
- (2) 班会登録をすすめました。楽しい班会を広げようと、物づくりや食べ物づくり、組合員の得意分野を活かした班会が開催され班会開催目標を大きく達成しました。
- (3) 機関紙配布率を高める活動として、配布者会議や配布者交流会を開催し、配布名簿整理、配布マップ整理、配布者探しに取り組みました。
- (4) 1,000世帯を超える支部の支部分割を提起し、分割した支部の活動の特徴や後継者対策含めた実状を共有し検討を重ねました。引き続き具体化を進めます。
- (5) 暮らしの相談員養成講座を開催するために検討を重ねました。2回の学習会とアンケートをもとに来年度から講座を開講していきます。
- (6) ぐんままるごと健康チャレンジには2,501人参加し前年を上回りました（前年2,280人）。ウォーキングイベントを2回開催し参加者が増えてきました。組合員以外の方も参加しその場で加入に結びつく経験もありました。生協の健康づくり活動を広める機会として継続していきます。
- (7) 70周年事業を一年かけて取り組みました。（記念集会800人、記念誌・動画作成、学習運動、健康づくりイベント、70周年の冠をつけた支部の企画）地域組合員と職場組合員の協同の取組みが教訓です。

2. 事業活動

- (1) 病院の入院（94.5%）と外来とも（97.1%）1日当たりの利用者数では利用目標（予算）に届きませんでした。診療所は障がい者施設の嘱託契約や精神科外来の一部を移したことにより利用目標を上回りました（129.1%）。
- (2) 介護福祉事業では利用目標（予算）に届きませんでした。前年度を大きく上回ってきました。一定の事業所間連携と目標管理（職場マネジメント）が一步前進してきています。引き続き利用目標に届くよう業務改善をすすめます。

3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

- (1) コロナ禍で開催できなかった自治体懇談（渋川市、吉岡町、榛東村）を行いました。要求をまとめ提出し、回答をもらい、要求に対しての懇談をすすめる。自治体により対応が異なりますが継続していきます。
- (2) なんでも相談会フードパントリーを2回開催しました。7月（来場343人、要員50人）12月（来場505人、要員70人）でした。活動の輪が広がっています。

会員生協の特徴的な取り組み

【群馬中央医療生協生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) 多彩で多様な交流企画に取り組みました。中毛地区で11月に開催したポッチャ体験会には初めてポッチャを体験した方が多く参加、子どもから高齢者や車椅子の方など約80名がポッチャを通して交流する機会になりました。桐生地区では10月に診療所敷地内で「収穫祭 & 野外コンサート」を開催、約300人が参加しました。
- (2) 健康づくりに気軽に取り組むツールとして「二つのソクイク体験会」を開催し、「食べることと歩くこと」がしっかりできるための体操などを学びました。太呂楽・館林ブロックの11カ所で合計95人が参加、中毛地区では43名が参加しました。
- (3) 「まちかど健康チェック・健康相談」は中毛地区では昨年度に定例化しほぼ毎月実施している JA ファーマーズ朝倉店に加えて、前橋協立病院の南に新たにオープンしたフレッセイ朝倉店や、ひろせ老人福祉センター、桐生地区ではカスミ桐生店、太田地区ではコープ新井店で定期的に開催がされており、前年度と比較して倍近い人数の相談を受け付けました。

2. 事業活動

- (1) 医科事業所では、コロナ感染症が5類へ移行しても、引き続きコロナ感染への対応及びコロナ以外の感染症も含め急増した発熱者への対応を行いました。
- (2) 桐生協立診療所が在宅療養支援診療所の算定基準を取得したことをはじめ、法人内だけでなく外部の事業所との連携により訪問診療件数を伸ばし在宅分野で前進しました。
- (3) 医科・歯科事業所の5つの院所利用委員会は利用しやすい事業所にするために、壁紙や案内表示の貼りかえ、敷地内のコミュニティスペースの設置など環境改善活動を行いました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの取り組み

- (1) 物価高騰により暮らしの困難さが増大する中、食糧配布や生活応援企画など、困難に寄り添う活動として、中毛地区で7月と12月に生活応援企画を、大泉千代田支部主催で11月に「生活相談フードバンク in 大泉」を、他団体との連携・協同により開催、来場者は3回合わせて577名でした。
- (2) 無料学習支援として2015年に開始した「ひろせ川教室」は、4月から子どもの居場所支援としての位置づけを明確化し、専従の職員（非常勤）を配置しました。利用条件をなくしたことで専従職員それぞれの経験や得意分野を活かした支援により、人数も年度当初3人から6倍程度に増え、子どもの居場所としての役割を發揮しています。

会員生協の特徴的な取り組み

【はるな生活協同組合】

1. 組合員活動

- (1) コロナ禍を経て地域班会が本格的に再開され、開催数はコロナ前の2019年を上回りました。
- (2) 新たに5つの班が結成されました。特徴は楽器演奏、絵手紙、健康マージャン、折紙など“やりたい事に地域を超えて参加する”班会と、“仲間で楽しいことを企画する”班でした。従来の枠組みを超えて幅広い層のつながりが生まれました。
- (3) 西毛地域の史跡や街並みを歩くウォーキング企画「ふるさとの散歩道」を2カ月に1回のペースで開催し、毎回20名程度が参加しています。
- (4) えんがお歯科診療所でフリマ&バザーを開催し130人が参加しました。3回目となる企画で毎年参加者が増えています。
- (5) 70周年記念事業の一環として上映したドキュメンタリー映画「荒野に希望の灯をともし & 監督アフタートーク」は遠く仙台から、また県内各地からの参加もあり400名を超える成功となりました。

2. 事業活動

- (1) 各事業所で「紹介を断らない」意識を徹底することにより、患者・利用者数の増加を図りました。医療事業ではほとんどの事業所で患者数が前年を上回り、特に歯科の増加が顕著でした。福祉事業では、訪問リハビリや看多機などで利用者確保が進みましたが、訪問介護やショートステイなどで前年を下回り、全体の利用者数は前年に届きませんでした。
- (2) 利用者確保に苦戦していた「看護小規模多機能つむぎ」は下期から利用者数が計画を超過し、前年比147%と大幅に増加しました。
- (3) 経常収支は▲2,798万円となり、3期連続の赤字決算となりました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの活動

- (1) 無料低額診療事業（経済的な理由で必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう無料又は低額な料金で診療を行う事業）を病院、歯科診療所、通町診療所で取り組みました。
- (2) 助け合いの有償ボランティア「あんじゃねえ」のとりくみは、利用者数が増える一方で協力者が不足し、協力者への負担が増えています。
- (3) 14年目となる生活困窮者支援炊き出し（高崎中央公民館・月2回）を継続して取り組みました。
- (4) 高崎経済大生食糧支援を行う「まんぷくプロジェクト@高崎」に参加し、支援を行いました。

会員生協の特徴的な取り組み

【こくみん共済 coop 〈全労済〉 群馬推進本部】

1. 組合員活動

- (1) 2023年7月28日にホテルラシーネ新前橋にて第68回通常総代会を開催し、全ての議案が承認されました。
- (2) 令和6年能登半島地震は、19,000件を超える被災受付となりました。被災者へ1日も早く共済金をお届けするため、1月10日より石川、富山、新潟へ全国の職員による現場調査支援を開始し、3月27日までに延べ560人の職員を動員しました。群馬推進本部からも延べ14人の職員を動員しました。
- (3) 2023年7月に群馬県内にて2回発生した降電被害は、電が頭に当たる人的被害や、車の破損、住宅の窓ガラスが割れたり屋根に穴があいたりするなどの被害が相次ぎました。これまでに群馬県内で4,300件を超える被害受付をしており、約7億1,250万円の共済金をお支払いしています。

2. 事業活動

- (1) 2024年4月1日に住まいる共済（火災共済、自然災害共済）の商品改定を行いました。主な改定として、風水害保障の拡充や自然災害の多発化・大規模化、地震被害に備えた最高限度額の引き上げを行いました。また、当商品改定を契機に4月25日、26日の2日間にわたり、代表委員ならびにこくみん共済 coop 職員による住まいる共済を中心としたポスティング活動を実施しました。
- (2) マイカー共済、自賠責共済の自動車補償を中心に、無補償者をなくす取り組み、ならびに万一の事故に遭われた場合の補償が不足していないかの点検・見直し活動を協力団体と協働で行いました。

3. 社会貢献や地域社会づくりの取り組み

- (1) 子どもたちを交通事故から守る取り組みとして、マイカー共済の見積1件につき横断旗を1本寄贈する「7才の交通安全プロジェクト」を展開し、合計2,754本の横断旗を寄贈しました（2023年上期：2023年6月～11月）。
- (2) 子どもたちの成長を支える取り組みとして、協力団体における団体生命共済の一律保障増口決定やくくみん共済「こども保障タイプ」の加入件数に応じてなわとび・長なわを寄贈する「こどもの成長応援プロジェクト」を展開しました。

2023年度理事会の開催概況

開催状況、議決事項は次のとおりです。

年 月 日	回次	議 決 事 項
23年 6 月15日	1	1. 会長理事、常務理事の互選について 2. 代表理事の就任について 3. 顧問の就任について
23年 7 月20日	2	1. 第64回通常総会のまとめについて
23年 9 月21日	3	1. 会長理事、専務理事、理事会における職位代行順位について 2. 役職員永年勤続表彰者の推薦および記念品の選定について
23年11月16日	4	1. 2024年度県連会費承認について 2. 県連理事会推薦区分役員推薦委員会委員の選出とスケジュールについて 3. 新春交歓会の開催と進め方について 4. 「電子取引データの保存に関する事務処理規程」の制定について
24年 1 月18日	5	1. 第65回通常総会関連について （1）第65回開催案内と予定議題について （2）代議員定数の算出の算出について （3）役員改選に伴う理事・監事の推薦区分の定数について 2. 学校生協と群馬県生協連との利益相反取引承認について 3. 令和6年能登半島地震災害復興募金への協力について 4. 群馬県薬事審議会委員の推薦承認について
24年 3 月21日	6	1. 学校生協と群馬県生協連との事務所賃貸借契約の見直しについて 2. 学校生協と群馬県生協連との利益相反取引承認について
24年 5 月16日	7	1. 第65回通常総会議案について 2. 総会運営について 3. 日本生協連中央地連運営委員の交代について

2023年度一般活動

年 月 日	行 事	備 考
'23. 3. 22	日本生協連中央地連運営委員会 (Web 併用開催)	(針谷)
〃	日本生協連地区別議案検討会議 (Web 併用開催)	(針谷)
24	都県連交流会	(針谷)
27	前橋市消団連幹事会	(八田、山口)
28	女性協議会オンライン学習会／家庭における性教育	(針谷、山口)
'23. 4. 3	MCA 無線訓練	(佐藤)
5	消費者支援群馬ひまわりの会理事会 (Web 開催)	(中村)
6	群馬県消団連幹事会	(八田、山口)
7	県連事務局会議	(全員)
12	女性協議会運営委員会	(山口)
20	県連常務理事会	(中村、針谷、山口)
〃	役員推薦委員会	(中村、針谷、山口)
24	前橋市消団連幹事会	(八田、山口)
27	群馬県消団連幹事会	(八田、山口)
'23. 5. 1	県連事務局会議	(全員)
10	女性協議会運営委員会	(山口)
11	県連監事会・監事会監査	(針谷、山口)
17	前橋工科大学総代会	
18	県連理事会	(全員)
20	群馬大学生協総代会	
22	前橋市消団連総会	(八田、山口)
23	第1回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会 (Web 開催)	(針谷)
24	高崎経済大学総代会	
25	群馬県消費者団体連絡会総会／消費者トラブル学習会	(大貫、八田、山口)
27	消費者支援群馬ひまわりの会総会	(中村、大貫、山口)
30	太田情報・医療・自動車専門学校総代会	
〃	第1回生協大会実行委員会	(針谷、山口)

年月日	行 事	備 考
'23. 6. 1	MCA 無線訓練	(山口)
〃	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
2	県連事務局会議	(全員)
7	コープぐんま総代会	
8	女性協議会運営委員会	(山口)
9	医療福祉生協連総会	
10	よつ葉生協総代会	
14	パルシステム群馬総代会	(中村)
15	第64回県連通常総会	於：JA 群馬ビル
〃	第1回県連理事会	(大貫、針谷、山口)
16	第73回日本生協連通常総会	(大貫、針谷)
〃	第15回コープ共済連通常総会	(大貫)
17	生活クラブ生協総代会	
〃	はるな生協総代会	
〃	利根保健生協総代会	
〃	群馬中央医療生協総代会	(針谷)
20	女性協議会総会／LGBTQ 学習会	(全員)
〃	ぐんま労福協総会	(大貫)
21	第2回生協大会実行委員会 (Web 開催)	(針谷、山口)
〃	学校生協総代会	
22	県庁生協総代会	
24	北毛保健生協総代会	(大貫)
26	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)
28	第17回ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク総会	(針谷、山口)
〃	群馬県消費生活課との会員生協との懇談会	(大貫、針谷、山口)

年月日	行 事	備 考
'23. 7. 3	県連事務局会議	(全員)
4	第2回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会 (Web 開催)	(針谷、佐藤)
6	県連常務理事会	(大貫、針谷、山口)
〃	第1回群馬県消費者大会実行委員会	(大貫、山口)
〃	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
〃	第1回県連組織部会／ヤングケアラー学習会	(針谷、山口)
12	女性協議会運営委員会／男女共同参画について学習会	(山口)
14	中央地連災害対策協議会	(山口)
〃	群馬県特殊詐欺根絶協議会	(針谷)
18	医療福祉生協監事世話人会	(針谷、山口)
19	災害ボランティアぐんま総会	(山口)
20	県連理事会	(全員)
21	群馬県食育推進会議	(針谷)
24	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)
25	中央地連運営委員会	(針谷、新井)
〃	都県連活動推進協議会	(針谷)
〃	中央労働金庫との懇談会	(針谷)
27	第3回生協大会実行委員会	(針谷、山口)
28	こくみん共済 coop 群馬推進本部総代会	(大貫)
'23. 8. 1	MCA 無線訓練	(山口)
〃	健康チャレンジ事務局団体会議 (Web 開催)	(針谷)
3	第2回群馬県消費者大会実行委員会	(大貫、山口)
〃	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
7	県連事務局会議	(全員)
〃	群馬県総合防災訓練調整会議	(針谷)
8	群馬県環境にやさしい買い物スタイル推進協議会	(山口)
9	女性協議会運営委員会	(山口)
10	消費者支援群馬ひまわりの会理事会 (Web 開催)	(大貫、山口)
11	戦争写真展、前橋空襲体験談報告会	(針谷)
17	県連常務理事会	(大貫、針谷、山口)
22	医療福祉生協監事世話人会	(針谷)
〃	第3回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会 (Web 開催)	(針谷、佐藤)
〃	とりせん城西の杜店・親子食品表示講座 (県との協働事業)	(山口)
24	第4回生協大会実行委員会 (Web 開催)	(針谷、山口)
28	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)

年月日	行 事	備 考
'23. 9. 4	県連事務局会議	(全員)
7	群馬県小学校長会 (キッズチャレンジ説明)	(佐藤)
〃	共愛学園前橋国際大学短期大学部 (産学官連携事業)	(針谷)
〃	第3回群馬県消費者大会実行委員会	(大貫、山口)
〃	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
9	群馬県総合防災訓練リハーサル	(山口)
11	男女共同参画センター運営会議 (Web 開催)	(針谷)
〃	フートピア21委員会第3回県連理事会 (Web 開催)	(大貫、針谷、山口)
13	女性協議会運営委員会	(山口)
14	医療福祉生協監事交流会/期末監査・会計監査学習会	(針谷、山口)
16	群馬県総合防災訓練	(針谷、山口)
20	全国県連活動交流会 (Web 開催)	(針谷)
21	第3回県連理事会	(全員)
25	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)
26	第2回中央地連運営委員会 (Web 併用)	(針谷、新井)
28	第5回生協大会実行委員会	(針谷、山口)
'23. 10. 2	MCA 無線訓練	(山口、佐藤)
〃	県連事務局会議	(全員)
3	明和町消費生活センター懇談会	(大貫、山口)
〃	館林市消費生活センター懇談会	(大貫、山口)
4	消費者支援群馬ひまわりの会理事会 (Web 開催)	(大貫、山口)
5	第4回群馬県消費者大会実行委員会	(大貫、山口)
〃	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
11	女性協議会運営委員会	(山口)
12	第55回生協大会/タイガーマスク運動の始まり学習会	(全員)
18	県への要請事項回答説明会	(大貫、山口)
19	第3回常務理事会 (Web 開催)	(大貫、針谷、山口)
23	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)
25	ぐんままるごと健康チャレンジ応援企画学習会	(針谷、山口、佐藤)
26	第67回群馬県消費者大会/LGBTQ 学習会	(全員)
27	関東甲信越行政生協関係者連絡会	(針谷)

年月日	行 事	備 考
'23. 11. 2	第5回群馬県消費者大会実行委員会	(大貫、山口)
〃	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
7	医療福祉生協監事世話人会	(針谷、山口)
8	女性協議会運営委員会	(山口)
〃	群馬県消費者問題審議会	(針谷)
9	第6回生協大会実行委員会	(針谷、山口)
14	高崎健康福祉大学・ベイシア店舗視察(産学官連携事業)	(針谷)
16	第4回県連理事会	(全員)
21	中央地連運営委員会(Web併用)	(針谷、新井)
〃	都県連活動推進会議(Web併用)	(針谷)
24	高崎健康福祉大学・コープみさと店視察(産学官連携事業)	(針谷)
27	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)
'23. 12. 1	MCA 無線訓練	(佐藤)
4	県連事務局会議	(全員)
7	福島被災地バス視察	(針谷、山口、佐藤)
13	女性協議会運営委員会	(山口)
15	中央地連都県連災害対策都県連交流会(Web開催)	(山口)
〃	消費者支援群馬ひまわりの会理事会(Web併用)	(大貫、山口)
18	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)
19	第4回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会	(針谷、佐藤)
21	第4回常務理事会	(大貫、針谷、山口)
〃	第1回県連理事会推薦区分役員推薦委員会	(大貫、針谷、山口)
22	第1回監事会	(針谷、山口)
'24. 1. 5	県連事務局会議	(全員)
9	年始廻り	(大貫、針谷)
10	日本生協連全国方針検討集会(Web開催)	(針谷)
11	2024年日生協新年互礼会(3生協連合同)	(大貫、針谷)
〃	群馬県消団連幹事会	(山口)
17	女性協議会運営委員会	(山口)
18	第5回県連理事会	(全員)
〃	2024年県生協連新年互礼会	(全員)
22	前橋市消団連幹事会	(大貫、針谷)
23	中央地連運営委員会(Web併用)	(針谷、新井)
〃	都県連活動推進会議(Web併用)	(針谷)
〃	女性協議会学習会/青木佑太氏	(山口)
24	群馬県特殊詐欺根絶協議会	(針谷)
30	県連組織部会	(針谷、山口)

年月日	行 事	備 考
'24. 2. 1	MCA 無線訓練	(佐藤)
5	県連事務局会議	(全員)
8	医療福祉生協非常勤理事研修交流会／片山専務講演会	(針谷、山口)
〃	トラック協会評議会	(山口)
〃	消費者支援群馬ひまわりの会理事会 (Web 併用)	(大貫、山口)
14	女性協議会運営委員会	(山口)
15	第5回常務理事会	(大貫、針谷、山口)
〃	第2回県連理事会推薦区分役員推薦委員会	(大貫、針谷、山口)
16	中央地連大規模災害対策協議会 (Web 開催)	(山口)
20	第5回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会	(針谷、佐藤)
〃	協働型災害ボランティアセンター運営研修会 1日目	(山口)
21	協働型災害ボランティアセンター運営研修会 2日目	(山口)
24	北毛保健生協創立70周年記念行事	(大貫)
26	前橋市消団連幹事会	(山口)
〃	こくみん共済 coop 群馬推進本部協力団体トップセミナー	(針谷)
28	県連災害対策協議会	(針谷、山口)
29	フートピア21学習交流会	(針谷、山口)
〃	ぐんまボランティアフォーラム (Web 開催)	(佐藤)
'24. 3. 4	県連事務局会議	(全員)
7	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
13	女性協議会運営委員会	(山口)
21	第6回県連理事会	(全員)
25	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)
27	中央地連運営委員会 (Web 併用)	(針谷、新井)
〃	日本生協連地区別・総会議案検討会議 (Web 併用)	(大貫、針谷、新井)
〃	女性協議会オンライン学習会／成年年齢の引き下げ	(山口)

2024年度のうごき（参考）

年 月 日	行 事	備 考
'24. 4. 1	MCA 無線訓練	(佐藤)
〃	県連事務局会議	(全員)
3	消費者支援群馬ひまわりの会理事会	(大貫、山口)
4	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
5	都県連交流会	(針谷)
10	女性協議会運営委員会	(山口)
18	第6回常務理事会	(大貫、針谷、山口)
〃	第3回県連理事会推薦区分役員推薦委員会	(大貫、山口)
22	前橋市消団連幹事会	(大貫、山口)
'24. 5. 2	群馬県消団連幹事会	(大貫、山口)
6	県連事務局会議	(全員)
8	女性協議会運営委員会	(山口)
9	監査会、県連監査	(針谷・山口)
16	第7回理事会	(全員)
18	群馬大学生協総代会	於：荒牧キャンパス生協食堂
21	第1回ぐんままるごと健康チャレンジ実行委員会	(針谷、佐藤)
22	前橋工科大学学生協総代会	於：メイビットホール
25	消費者支援群馬ひまわりの会総会	(大貫、山口)
27	前橋市消費者団体連絡会総会	於：細井ステーション
28	群馬県消費者団体連絡会議総会	於：群馬県勤労福祉センター
〃	太田情報・医療・自動車専門学校生協総代会	於：情報校オレンジホール
29	高崎経済大学総代会	於：三扇会館
'24. 6. 3	MCA 無線訓練	
〃	県連事務局会議	
5	女性協議会運営委員会	
6	群馬県消団連幹事会	
7	日本医療福祉生協連総会	
12	コープぐんま総代会	於：エテルナ高崎
〃	パルシステム群馬生協総代会	於：Gメッセ大会議室
14	第74回日本生協連通常総会	
〃	第16回コープ共済連通常総会	
15	群馬中央医療生協総代会	於：県公社総合ビル
〃	はるな生協総代会	於：高崎市総合福祉センター
〃	よつ葉生協総代会	於：小山市立文化センター
〃	生活クラブ生協総代会	於：玉村町住民活動サポートセンター
20	第65回群馬県生活協同組合連合会通常総会	於：群馬県JAビル大ホール
22	利根保健生協総代会	於：利根沼田文化会館
〃	北毛保健生協総代会	於：プレヴェール渋川
26	学校生協総代会	於：ロイヤルチェスター前橋
〃	県庁生協総代会	於：県庁生協食堂 地下1階

永年勤続者表彰

生 協 名	30年	15年
コープぐんま	岩 崎 修 之 (コープみさと店) 柏 瀬 浩 (共済部) 狩 野 義 明 (共済部) 葛 上 文 夫 (連合会出向) 相 川 正 志 (高崎センター) 松 井 修 (太田センター) 新 井 勝 頼 (北部センター) 市 川 勇 人 (コープ寺尾店) 森 下 和 之 (コープケアあいおい) 吉 野 猛 (連合会出向) 長谷川 直 樹 (開発室) 川 島 章 彦 (沼田センター) 福 田 英 俊 (太田センター) 川 島 信 亜 樹 (保険センター出向) 亀 井 正 信 (太田センター)	西 沢 俊 晃 (沼田センター) 佐 野 智 久 (コープ中野店) 田 島 俊 明 (連合会出向) 黒 澤 潤 (共済部) 小 野 佳 広 (前橋センター) 堀 越 明 久 (コープ藤岡店) 木 村 友 美 (桐生センター) 渋 澤 知 子 (北部センター) 武 藤 るみ子 (コープ新井店) 小 川 美千代 (コープ新井店) 佐 藤 恵 子 (コープ新井店) 中 村 春 美 (コープ中野店) 有 坂 美智子 (コープ昭和店) 小 見 富貴子 (コープ昭和店) 青 山 礼 子 (コープ宮子店) 関 口 志津江 (コープ宮子店) 志 田 貴代恵 (コープ宮子店) 磯 貝 陽 子 (コープ寺尾店) 関 沼 かおり (コープ藤岡店) 霜 田 喜 子 (北部センター) 茂 野 浩 美 (沼田センター) 市 川 典 子 (富岡センター) 深 澤 由佳里 (前橋センター)
パルシステム群馬		石 田 ふくえ (渋川センター) 菊 間 順 也 (総合管理部) 松 本 一 和 (渋川センター)
県 庁 生 協	長久保 正 吾 (業務第二課)	
こくみん共済coop 群馬推進本部	羽 鳥 雅 世 (事業推進部)	

生協名	30年	15年
北毛保健生協	藤井 かおる (看護師)	金井 孝行 (社会福祉士) 洪澤 拓哉 (管理栄養士) 野原 英子 (看護師) 桑原 春美 (准看護師) 齊藤 香理 (看護師) 唐澤 聡志 (介護福祉士) 松浦 希代子 (介護福祉士) 石井 幸恵 (介護福祉士) 大竹 環 (介護職) 青木 崇浩 (看護師)
利根保健生協	青山 政江 (看護師) 大塚 隆幸 (医師) 小崎 多恵 (保育士) 笠原 ありさ (歯科衛生士) 片山 恵 (看護師) 加藤 政文 (看護師) 金古 功 (事務員) 須田 良子 (看護師) 関根 美智子 (臨床検査技師) 鷹嘴 朱美 (看護師) 中嶋 美保 (事務員) 深代 やす子 (臨床検査技師) 牧野 まさ美 (事務員) 吉野 清恵 (看護師)	飯田 楨 (看護師) 石井 麻衣 (看護師) 石井 友理 (助産師) 神山 恵理加 (歯科衛生士) 川田 冷子 (介護福祉士) 佐藤 愛 (看護補助者) 柴崎 芳光 (看護師) 高橋 志穂 (看護師) 田邊 智沙 (看護師) 中村 佳代 (臨床検査技師) 中山 久美 (看護師) 檜原 美奈子 (看護師) 西村 樹 (事務員) 真庭 雅美 (事務員) 山田 美香 (保健師)
はるな生協		清水 美景 (准看護師) 小池 尊 (放射線技師) 市川 佳介 (理学療法士) 山田 知加 (看護師) 大澤 拓也 (准看護師)

生協名	30年	15年
群馬中央医療生協	大 島 好 幸 (事務員)	山 内 伸 一 (看護師)
	千吉良 久美子 (栄養士)	高 橋 秀 彰 (看護師)
	石 河 直 子 (検査技師)	高 橋 裕 子 (看護師)
	栗 田 京 子 (管理栄養士)	井 上 佳 子 (看護師)
	田部井 喜久江 (看護師)	真 貝 美 佐 (看護師)
	堀 口 直 (事務員)	古 関 裕 司 (看護師)
	阿 部 裕 美 (事務員)	相 川 友 貴 (看護師)
	吉 村 泰 志 (事務員)	下 田 洋 美 (看護師)
	島 田 友 子 (事務員)	佐 藤 直 美 (看護師)
	高 柳 亮 (医師)	
	宮 下 玲 子 (歯科衛生士)	

I 事業報告書（2023年3月21日から2024年3月31日）

はじめに

第64回通常総会において、定款 第63条の事業年度を「3月21日から翌年3月20日」を「4月1日から翌年3月31日」に変更しましたので、生協法施行規則第69条第1項に基づき、今総会では2023年3月21日から2024年3月31日までを1事業年度として報告いたします。

1 連合会の事業活動の概況に関する事項

(1) 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

主要な事業活動は、①会員の指導、連絡及び調整に関する事業、②会員及び会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を計る事業、③会員、会員の組合員及び従業員、並びに会の従業員の会の事業に関する知識の向上を図る事業などです。

(2) 連合会の事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

①議案書「第1号議案 2023年度の活動のまとめ」を参照

②議案書「第2号議案 2024年度の事業計画」を参照

(3) 直前3事業年度の財産および損益の状況

(単位：円)

項目	2020年度	2021年度	2022年度	本年度
会員生協数	15生協	15生協	15生協	15生協
出資金額	4,977,000	4,977,000	4,977,000	4,977,000
会費収入	19,781,100	20,204,500	21,301,000	21,846,300
特別会費	2,594,441	0	0	0
経常剰余金	1,587,480	3,018,436	1,973,911	2,316,910
当期剰余金	1,253,480	2,343,936	1,408,289	1,619,476
総資産	23,869,296	26,269,192	27,816,872	29,402,573
純資産	21,969,983	24,313,919	25,722,208	27,341,684

(4) 増資および資金の借り入れ、その他資金調達の状況

該当する事項はありません。

(5) 他の法人との業務上の提携

該当する事項はありません。

(6) 教育事業等の状況

(単位：円)

項 目	金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金	300,000

教育事業等の使途

科 目	内 容	金 額
教育文化費	会員役職員・組合員の学習会等	2,112,974
調査研究費	新聞・書籍購入等	135,701
	合 計	2,248,675

2 連合会の運営組織の状況に関する事項

(1) 前事業年度における総会の開催状況に関する事項

総会の議決状況

総代開催日	2023年6月15日	
総 会 日 現 在 総 代 数	31名	
出 席 総 代 数	本 人	21名
	代 理 人 (委任)	1名
	書 面	7名
	計	29名
重要な議事および議決事項		
第1号議案	2022年度事業報告及び決算関係書類承認の件 出席代議員の過半数の賛成により原案通り可決決定した。	
第2号議案	2023年度事業計画及び予算決定の件 出席代議員の過半数の賛成により原案通り可決決定した。	
第3号議案	定款変更の件 出席代議員の3分の2以上の賛成により原案通り可決決定した。	
第4号議案	役員選任規約変更の件 出席代議員の過半数の賛成により原案通り可決決定した。	
第5号議案	役員補充選任の件 出席代議員の過半数の賛成により原案通り可決決定した。	
第6号議案	役員報酬総額承認の件 過半数の賛成により原案通り可決決定した。	

(2) 会員に関する事項

会員生協出資金等増減表

区 分	会員数 (生協)	口 数	出資金総額 (円)
前 期 末 現 在	15	4,977	4,977,000
当 期 増 加 分	0	0	0
当 期 減 少 分	0	0	0
当 期 末 現 在	15	4,977	4,977,000

(3) 役員に関する事項

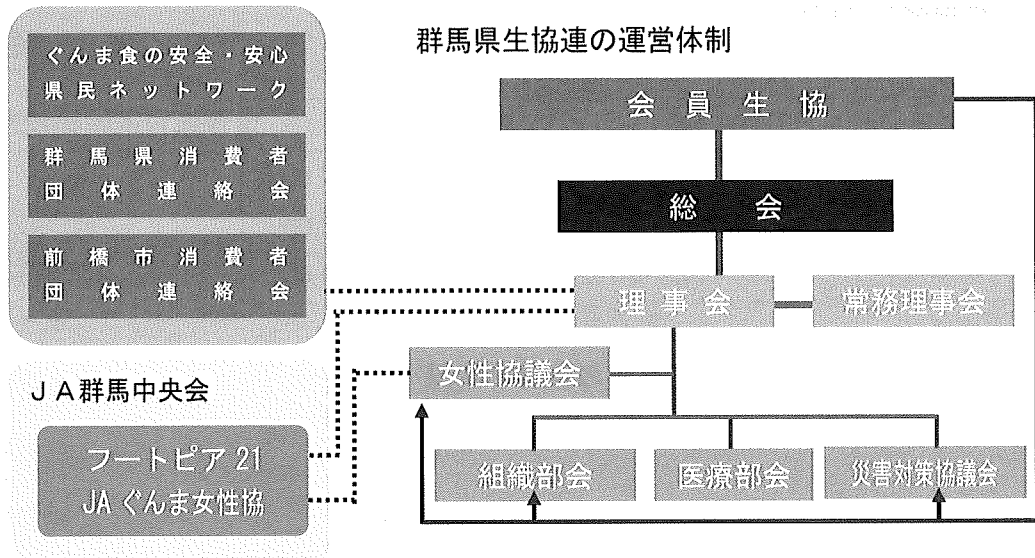
氏名	役職	その他の事実
大貫晴雄	会長理事	2023年就任 コープぐんま理事長
		2023年就任 日本生協連監事
		2023年就任 群馬県労働者生活協同組合理事
吉田登	副会長理事	2016年就任 こくみん共済coop 群馬推進本部本部長
長谷川敦子	副会長理事	2020年就任 群馬中央医療生協専務理事
木樽千恵子	副会長理事	2020年就任 県連女性協議会会長・コープぐんま全域理事
針谷勉	専務理事	2020年就任
今井英明	常務理事	2021年就任 群馬県庁生協常務理事
原澤裕	常務理事	2020年就任 利根保健生協専務理事
		2020年就任 コープぐんま理事
高橋成秀	常務理事	2023年就任 パルシステム群馬専務理事
反町幸代	理事	2014年就任 パルシステム群馬理事長
平林恵美	理事	2022年就任 生活クラブ生協理事
山口真司	理事	2023年就任 コープぐんま専務理事
新井弓佳	理事	2022年就任 コープぐんま全域理事
高木恵一	理事	2022年就任 群馬県学校生協理事長
丸山智晴	理事	2021年就任 群馬大学生協専務理事・太田情報・医療・自動車専門学校生協専務理事
樽井豊	理事	2021年就任 高崎経済大学生協専務理事・前橋工科大学生協理事
酒井潤	理事	2022年就任 はるな生協専務理事
諏訪憲治	理事	2022年就任 北毛保健生協専務理事
大小原里美	監事	2021年就任 パルシステム群馬監事
山端佐代子	監事	2020年就任 コープぐんま監事
横澤直人	監事	2022年就任 はるな生協理事

(4) 職員の数及びその増減その他職員の状況

区分	前期末数	当期末数
正規職員	1	1
定時職員	1	1

(5) 業務の運営の組織に関する事項

組織図



(6) 施設の設置状況に関する事項

主たる事務所：群馬県前橋市大友町1-13-12

II 事業報告書の附属明細書

1 役員報酬等の状況

(単位：円)

区 分		金 額
理 事	常 勤	4,800,000
	非 常 勤	1,888,000
合 計		6,688,000

2 役員以外の法人等の業務執行者の兼務の状況

「役員に関する事項」で表示している通りです。

3 連合会と役員との間の利益が相反する取引の明細

役員名	氏 名	取引の内容及び金額（円）		摘 要
		取引の内容	当期取引額	
理事	高木 恵一	事務所賃借	805,200	群馬県学校生活協同組合理事長

4 その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

該当する事項はありません。

Ⅲ 決算関係書類

貸借対照表

群馬県生活協同組合連合会

(2024年3月31日現在) (単位：円)

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	<u>25,677,573</u>	流動負債	<u>2,060,889</u>
現金	335,522	未払費用	1,470,289
普通預金	16,063,509	未払法人税等	590,600
定期預金	9,147,862		
前払費用	130,680	負債合計	<u>2,060,889</u>
その他固定資産	<u>3,725,000</u>	純資産の部	金額
関係団体出資金	3,682,000	会員資本	<u>27,341,684</u>
差入保証金	43,000	出資金	4,977,000
		剰余金	22,364,684
		法定準備金	6,340,000
		経営支援積立金	4,000,000
		災害対策積立金	4,000,000
		特別事業積立金	5,000,000
		当期未処分剰余金	3,024,684
		(うち当期剰余金額)	(1,619,476)
		純資産合計	<u>27,341,684</u>
資産合計	29,402,573	負債・純資産合計	29,402,573

損益計算書

群馬県生活協同組合連合会

(自2023年3月21日 至2024年3月31日) (単位:円)

科 目	金 額	
会費等事業収入		
会費収入		<u>21,846,300</u>
事業経費		
人件費	12,050,601	
物件費	<u>7,599,304</u>	<u>19,649,905</u>
事業剰余金額		2,196,395
事業外収益		
受取利息	369	
受取配当金	82,962	
雑収入	<u>37,184</u>	<u>120,515</u>
事業外費用		
雑損失		<u>0</u>
経常剰余金額		2,316,910
税引前当期剰余金額		2,316,910
法人税等		<u>697,434</u>
当期剰余金額		1,619,476
当期首繰越剰余金		<u>1,405,208</u>
当期未処分剰余金		3,024,684

決算関係書類に関する注記

1 重要な会計方針に係る事項に関する事項に関する注記

- (1) 土地・建物の資産がないため、評価基準及び評価方法等についての注記事項はありません。
- (2) 有形固定資産、無形固定資産ともがないため、注記事項はありません。
- (3) 引当金の計上はないため、注記事項はありません。
- (4) 消費税の会計処理は内税方式を採用しています。
- (5) その他、基本となる重要な事項について、注記事項はありません。

2 貸借対照表に関する注記

- (1) 資産については、該当するものはありません。

3 損益計算書に関する注記

- (1) 法人税等には、住民税及び事業税が含まれています。
- (2) 当期繰越剰余金には、教育事業等繰越金300,000円が含まれています。

4 リースにより使用する固定資産に関する注記

中小企業の会計に関する指針によって記載しています。

(単位：円)

種類	内容	総額	年間リース料	未経過リース料
器具備品	複合機 1,316,400 (2023年3月取得)	1,316,400	269,280	1,047,120
器具備品	パソコン2台 580,800 (2023年3月取得)	580,800	116,160	464,640
器具備品	大型プリンター 再リース (2019年12月取得)	5,544	5,544	5,544
器具備品	オフィス電話 再リース (2015年1月取得)	7,286	7,286	7,286
ソフトウェア	おりこうブログ 再リース (2017年10月取得)	21,384	21,384	21,384
合計		1,931,414	419,654	1,545,974

5 関連当事者との取引に関する注記

該当する取引はありません。

6 重要な後発事象に関する注記

該当する事項はありません。

IV 決算関係書類の附属明細書

1 会員資本の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
出 資 金	4,977,000	0	0	4,977,000
法 定 準 備 金	6,340,000	0	0	6,340,000
経営支援積立金	3,000,000	1,000,000	0	4,000,000
災害対策積立金	3,500,000	500,000	0	4,000,000
特別事業積立金	4,500,000	500,000	0	5,000,000
当期未処分剰余金	3,405,208	1,619,476	2,000,000	3,024,684
合 計	25,722,208	3,619,476	2,000,000	27,341,684

2 関係団体出資金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
日 本 生 協 連	1,870,000	0	0	1,870,000
中 央 労 金	1,812,000	0	0	1,812,000
賀川記念全国生協 教育基金協会	150,000	0	150,000	0
合 計	3,832,000	0	150,000	3,682,000

3 差入保証金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
事 務 所 敷 金	43,000	0	0	43,000
合 計	43,000	0	0	43,000

4 事業経費の明細

(単位：円)

科 目	金 額
1. 人 件 費	
役 員 報 酬	6,688,000
職 員 給 与	3,600,000
定 時 職 員 給 与	1,512,997
法 定 福 利 費	249,604
福 利 厚 生 費	0
人 件 費 計	12,050,601
2. 物 件 費	
教 育 文 化 費	2,112,974
会 議 費	1,288,441
調 査 研 究 費	135,701
旅 費 交 通 費	112,118
消 耗 品 費	1,192,562
通 信 費	437,025
委 託 料	204,902
広 報 費	148,000
諸 会 費	425,275
渉 外 費	18,657
水 道 光 熱 費	183,797
施 設 管 理 費	11,758
リ ー ス 料	419,654
地 代 家 賃	805,200
租 税 公 課	600
雑 費	102,640
物 件 費 計	7,599,304
事 業 経 費 合 計	19,649,905

5 その他決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主要な事業に係る資産の内容

① 現金預金の明細

(単位：円)

科目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現金預金	現金	414,093	335,522	▲ 78,571
	普通預金	14,380,059	16,063,509	1,683,450
	定期預金	9,147,720	9,147,862	142
合 計		23,941,872	25,546,893	1,605,021

② 前払費用の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
賃料・共益費・駐車料金（4月分）	74,800
弥生会計安心保守サポート更新料	55,880
合 計	130,680

(2) 主要な事業に係る負債の内容

① 未払費用の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
人件費（3月分）	988,617
総会議案書印刷代・会場代仮計上額	300,000
通信費（電話・メール便・無線等）	22,780
コピーカウント料・用紙代等（2、3月分）	138,104
旅費交通費	890
水光熱費（電気）	18,248
振込手数料	1,650
合 計	1,470,289

② 未払法人税等の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
法人税 令和5年度分	327,100
地方法人税 令和5年度分	35,400
県民税 令和5年度分	24,800
市民税 令和5年度分	88,800
事業税 令和5年度分	80,200
特別法人事業税 令和5年度分	27,600
県民税 令和6年度分	1,700
市民税 令和6年度分	5,000
合 計	590,600

(3) 出資金の内訳

(単位：円)

会 員 生 協	口 数	金 額
生活協同組合コープぐんま	1,485口	1,485,000
生活クラブ生活協同組合	30口	30,000
生活協同組合パルシステム群馬	65口	65,000
群馬県庁生活協同組合	182口	182,000
群馬県学校生活協同組合	94口	94,000
群馬大学生生活協同組合	142口	142,000
高崎経済大学生生活協同組合	27口	27,000
太田情報・医療・自動車専門学校生活協同組合	10口	10,000
前橋工科大学生活協同組合	10口	10,000
利根保健生活協同組合	510口	510,000
北毛保健生活協同組合	286口	286,000
群馬中央医療生活協同組合	588口	588,000
はるな生活協同組合	274口	274,000
こくみん共済 coop 群馬推進本部	1,274口	1,274,000
合 計	4,977口	4,977,000

(4) 会費の内訳

(単位：円)

会 員 生 協	会 費
生活協同組合コープぐんま	11,565,500
生活クラブ生活協同組合	187,300
生活協同組合パルシステム群馬	1,983,100
群馬県庁生活協同組合	117,200
群馬県学校生活協同組合	98,900
群馬大学生生活協同組合	218,700
高崎経済大学生生活協同組合	128,000
太田情報・医療・自動車専門学校生活協同組合	36,100
前橋工科大学生活協同組合	40,800
利根保健生活協同組合	2,856,300
北毛保健生活協同組合	879,000
群馬中央医療生活協同組合	1,467,200
はるな生活協同組合	950,700
こくみん共済 coop 群馬推進本部	1,217,500
よつ葉生協 (準会員)	100,000
合 計	21,846,300

剰余金処分案

	(単位：円)
I 当期末処分剰余金	<u>3,024,684</u>
II 次期繰越剰余金	<u>3,024,684</u>

〈剰余金処分案について〉

次期繰越金とします。

II 次期繰越剰余金

次期繰越剰余金3,024,684円には、教育事業等繰越金の300,000円を含みます。

(生協法および定款で教育事業等繰越金は、当期剰余金の20分の1以上を次期繰越剰余金に含めて繰越すことになっています。)

以上の通り提案します。

2024年6月20日

代表理事 会長理事 大貫晴雄